**東武鉄道杯少年野球大会規定**

１．チームの選手登録は原則として２０名（５年生以下）とする。

２．組合せの若番号が１塁側ベンチ、後番号が３塁側ベンチとする。

３．監督、コーチは選手と同じユニホームを着用する。

４．各チームは試合開始時間１時間前に試合グラウンドに集合する。

５．審判は各チームより２名とする。

　　（審判服を着用し、第一試合のチームが第二試合の、第二試合のチームが第一試合の審判を行う。（第三、第四も同じ）なお、Ｗの場合は敗者チームとする。若番号が球審・２塁、後番号が１・３塁とする）

６．投球練習は、初回７球、以降３球とする。

７．変化球は認めない。

８．試合は６回戦とし、試合時間は１時間３０分を超えて新たなイニングに入らない、同点の場合は特別方式（タイブレーク）にて決着する。

|  |
| --- |
| 特別方式：無死満塁、継続打順を採用、その回数は２イニングを限度とし、勝敗が決しない場合は抽選とする。 |

９．４回以降１０点、５回以降７点差をもってコールドゲームとする。

10．降雨、日没の場合は４回もしくは６０分を経過した時に試合成立とし、その他は再試合とする。

11．監督またはコーチがタイムを要求し、選手にアドバイスする時は速やかに行う。

12．試合中ルール上微妙なプレイが生じた場合は、審判員が協議し判定する。

13．ヘルメットは１チーム７個以上同色のものを揃える。

14．捕手はプロテクター、レガースおよび捕手用ヘルメットを着用する。

15．ホームベースは一般用（大人用）とし、少年用も可とする。ベースは移動・固定ベースとす

る。

16．上記以外は全日本軟式野球連盟規約『学童の部』を採用する。

ただし、投球制限は設けない。

* 開・閉会式のプラカードは東武鉄道で用意する。